



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

# わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ  
http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区自治連合会  
連絡先  
志津南市民センター  
(公民館) 563-6206

## 増改築は保存委に相談を

### 新規則で手続きが一部変更



付き車庫が建設出来ず。基準の緩和により、建て坪率が40%から50%になりました。従

「町並み保存委員会」(町内会副会長9人と専任委員4人の計13人構成)は、毎月1回会議を行い、若草の美しい町並みを後世に伝える活動をしています。各町内の委員の玄関に町並み保存委員と分かるように白い名板を掲げています。

に発効した草津市若草地区地区計画と若草地域住民による町並み保存規則に即した工事と施行が必要で、住宅の増改築、車庫、物置の設置などの際には気軽に各町の町並み保存委員に声を掛けて下さい。また建築業者さんに依頼する場合も、必ず町並み保存委員に連絡するように伝えて下さい。これを怠りますと、工事変更など思わぬトラブルを引き起こすことになりかね

来、屋根付き車庫は1台分ですが、現在は2台分の設置が可能です。宅地面積次第では3台でも可能です。ただし、緑化基準もありますので設置の際は各町の町並み保存委員に連絡し、申請を行って建て坪率の確認を取って下さい。

お互いが近隣を愛し、住みよい町並みと環境づくりを縁あってこの若草を故郷とする私たちは、住民個々が住みよい町であるための何かを残さなければなりません。そのためには、隣近所、住民同士がコミュニケーションを深めながら助け合い、町づくりに参加できる地域社会を作っていくかねばなりません。ご協力をお願いする次第です。

若草町内の住宅建築あるいは車庫の拡張については、今年3月

ほとんどの住宅で2台の屋根

家の新築、増改築は草津市都市計画課へ申請が必要若草地区も築後20数年を経て家族構成の変化やリニューアルの検討、さらには一度更地にした上、新築

(町並み保存委員会)

## わが町10大ニュース

建築緑化協定廃止、町並み保存規則へ移行(4月) 1日。建築・緑化協定の失効、期限切れを受けこれを廃止、町並み保存規則(草津市地区計画制度)に移行。建ぺい率など規制緩和、増築へ道開く。

若草中央交差点に歩車分離信号設置(3月) 15日。かねて自治連が要望していた通学児童やスーパー「スター」買い物客の安全確保へ若草中央交差点の信号が歩行者と車両の分離方式に。

志津南小が創立20周年、記念式典で祝う(10月) 21日。志津南小が創立20周年を迎え、児童や学校関係者、保護者ら多数が参加して記念式典。コンサートや落語、記念植樹などで祝った。

情報化アンケート調査の集計結果発表(1月) 自治連が昨年11月に行った地域情報化に関する調査結果を公表。ネット接続率が80%、最も欲しい情報は防犯関連などニーズが明らかになった。

龍大生が地域内で初の取材実習スタート(6月) 8日。龍大コミュニティマネジメント学科学生の地域内での取材実習を自治連が受け入れ、公民館と若草ネット委を窓口スタートすることに。

志津南社協が「緑の十字軍」活動開始(7月) 15日。志津南社協がボランティアを募り、庭の手入れや剪定に苦勞している高齢者らを助ける「緑の十字軍」が活動を開始した。

志津南公民館が市民センターを主に(4月) 1日。市の組織改正に伴い、志津南公民館が志津南市民センターを主にし、公民館も併存することに。新所長として三上康晴氏が着任。

「市長とトーク」で防犯強化など要請(2月) 17日。空き巣対策や子どもを犯罪から守る手段、防災などで意見交換。市側は志津駐在所の交番所昇格、警官増配で対処したいと回答。

若草ネット委作業部会がHP改革に着手(4月) 市のパイロット事業の終了に伴い、同事業の「志津南HP」の運営管理をネット委員会に委嘱、同委員会には作業部会を設置してHP改革に着手。

初のデジカメコンテストに132点の応募(1月) 若草ネット委の第1回デジカメコンテストに一般・小学生あわせて132点の応募があり、最優秀賞に海部(一般)、竹内(小学生)の作品を選出。

## 一斉清掃に7百人

毎年11月の最終日曜日に行われる草津市の「散在性」一斉清掃の日」に合わせて志津南地区の秋の一斉清掃を11月26日に行いました。

午前8時30分、若草中央公園、若草東公園、若草西公園、岡本奥山児童公園の4カ所に約700人が清掃道具を手に集合。班長さんの合図で清掃作業を開始、同10時頃には19カ所の集積場に刈り草や落ち葉の大きな山を築きました。



枯草や落ち葉を集める参加者

お陰で地域全体がスッキリ、サッパリ、冬支度も完了です。ご近所付き合いの第一歩、町内の一員であることを一番自覚できるのがこの「一斉清掃」。「緑あふれる美しい町・志津南」は地域全員の誇りです。肌寒いなかをありがとうございました。(福利環境部)

# 平和と命の大切さ訴える

## 戦争の語り部が体験を切々と

戦争体験を通して命と平和の尊さを考える「平和祈念講演」



戦争体験を語る奥村さん

（志津南地区社会福祉協議会主催）が11月12日、志津南市民センターで行われ、住民ら約70人が出席、元従軍看護婦の奥村モト子さん（81）＝NPO法人「戦争体験を語り合つ会」＝が淡々と語る戦場体験に耳を傾けました。

戦争末期、日本赤十字社の従軍看護婦としてフィリピンのマニラに赴いた奥村さんは、「その頃には軍は既に崩壊寸前で、十分な武器弾薬、医療用品もなく

負傷兵の治療もままならなかった」とい、「死んでいった人たちのお陰で戦争が終わった。その人たちのためにも戦争の悲惨さを伝えなければならぬ。語る事が供養になる」と考え語り部になったと前置き。

米軍に追われ山岳地帯を逃げ回った時に目にした、死んだ母親に取りすぎる赤ん坊の姿、動けなくなった母親が赤ちゃんを差し出す光景や捕虜収容所でのエピソードなどを交えながら命の大切さ、尊さを強調。平和が続く中で命があるそかにされている現在の風潮に、「もっと命の教育を」と訴えました。

## ふれあいお茶会にぎわう



お茶会で談笑

参加者は熱心に話に聞き入り、中には涙を浮かべる人も見受けられました。（龍大学生取材班）

12日、志津南市民センター（公民館）で開かれました。招かれた70人のお年寄りらがお茶花を飾り、お琴のテープがゆつたりと流れる席で一服のお茶とお菓子で落ち着いたひと時を過ごしました。

また、同日開催された平和祈念講演の参加者も立ち寄って談笑の輪が広がるなど、大いににぎわいました。

## 研修に参加して



松本 昭さん

草津市自治連合会の視察研修が11月28、29の両日、福井市、越前市で行われ、小嶋会長の代理で参加しました。

28日は終戦間際の空襲や大地震を経験した福井市の防災センターを見学。翌29日は「地域のことは地域で」を合い言葉に町づくりに取り組み、着々と成果を挙げている越前市を訪問、組織のあり方や活動事例などを聞きました。

町づくりにしろ、防犯、防火・防災にしろ、地域の実情を把握することなく、画一的に行政の意向に従うだけでは決して成果は期待できないのは明らか。「要望型」から脱却し、地域それぞれの主体性、獨創性をもって、誰もが参加しやすいよう組織を見直し、地域の人々の理解と共感を得ながら進めることが大切だと実感しました。（若草三丁目町内会長・松本昭）

## ソフトなど2競技に熱戦

市チャレンジスポーツデー



大熱戦のソフトボール大会



ワンツーシュートにちびっこも

第5回チャレンジスポーツデー（草津市主催）の11月26日、志津南地区では志津南小学校グラウンドでソフトボール、体育館でワン・ツー・シュートがそれぞれ開催されました。曇天の日曜日となりましたが各町内からあわせて18チーム、300人が参加、大いに盛り上がりました。

ソフトボール大会は第9回を迎え、活気あふれる大会となりました。また体育館で行われた第2回ワン・ツー・シュート大会は単なる玉入れではなく、バスケットボールのスリーポイントシュートの要素を取り入れているため、得点に意外性が盛り込まれ、喜んだり、ガツカリしたりの光景が繰り広げられました。

さらに今回、新しい試みとして登場したベタタック、ドッチ、囲碁ボールといったニュースポーツにも多数の参加を得て楽しんでもらいました。

### 大会の結果

- ソフトボール
  - 優勝 若草8丁目
  - 準優勝 若草6丁目
  - 3位 若草2丁目
  - 敗者復活戦第一位 若草7丁目
  - ワンツーシュート
    - 優勝 若草1丁目
    - 準優勝 若草6丁目
    - 3位 若草3丁目
    - 敗者復活戦第一位 岡本町西

お礼申し上げます。（体育振興会）

# 砂鉄採りやどんぐりモビール

## 南っ子が森の恵みを実地観察



砂鉄の採取方法を学ぶ

小雨模様の中、キャンプ場の入り口からオランダ堰堤まで移動、目の前に現れたブルーシートで出来た基地に、「いったい何が始まるの?」と子どもたちは興味津々。

わんぱくブラザ南っ子の自然観察会「森の足跡」が11月11日、桐生キャンプ場で行われ、26人の南っ子が砂鉄集めなどに取り組みました。

森の博士が「今日はみんなに砂鉄を集めてもらおうと思うんだ。さてどこにあると思う?」と問いかけて実行に。川の砂をすくって水の中でお皿を揺するとお皿の中に砂が残る。この砂を容器に移し、磁石を入れると磁石に黒いものがひっついてきました。

「この砂鉄は石が風化したものなんだよ。もっとたくさん集めてみよう」と森の博士。今度は砂を三段階に分けて振るいにかけて、残った砂を半分に分けて竹筒に入れて、上から水を注いでいきます。すると、竹の節に砂が引っかかり、その砂を集めると砂鉄が採取できました。子どもたちは長靴をはいて川の中に入り楽しそうでした。

次はどんぐりのモビールづくりです。どんぐりに穴をあけ棒をさします。どんぐりを増やしたり、減らしたり、重心を変えたりとかなり苦労しながら作り上げました。

自然は子どもたちに多くの知恵を授ける大切な役割を果たしてくれました。

### 公民館で清掃と消火訓練

志津南市民センター(公民館)の一斉清掃が11月24日行われ、公民館自主サークルや地域の各種団体の利用者ら約40人が全館を磨き上げました。

この日午前9時から一斉に行われた清掃では、普段余り手に入らない窓や床の拭き掃除を重点に実施、全館すっきりきれいになりました。

このあと、西消防署分署の指導を受けて、参加者と職員が消防訓練を実施。通報と避難誘導訓練、それに消火訓練も行いました。消火訓練では、水消火器を使って、さまざまな状況での訓練を行いました。

訓練後、消防署員から火事の際の避難や消火について話しを聞き、最後に消防法の改正に伴う火災報知器の設置義務について説明を受けました。

### お知らせ

志津南市民センター(公民館)が次の3講座の受講生を募集しています。希望者は参加料を添えてお申し込み下さい。

- 子育て支援講座 「香りで遊ぼう」
- 日時 1月29日(月) 午前10時~11時30分
- 対象 就学前の子どもとその保護者(定員20組)
- 受講料 1組300円

(別途材料費300円要) 締切 1月20日(土) 食育講座 「美味しく食べて健康な毎日」

日時・内容(平成19年) 各10時~12時 1月18日(木) 「健康の源は正しい咀嚼」

2月1日(木) 「ひと手間かけて我が家の味」 2月15日(木) 「琵琶湖の幸を伝えたい!」

ホンモノコを味わおう」 定員 20人(多数の場合抽選) 受講料 900円(別途材料費要)

締切 1月10日(水) ホームページの入門講座 「HTMLを基礎から学ぶ」

### 使用済みカートリッジ回収箱設置

PTA環境ベルマーク部はベルマークを集め、自分たちの学校用品の購入に充てています。1点で1円の計算で点数に応じた物品が入手できます。このベルマーク活動の一環として、志津南市民センター(公民館)にカートリッジ回収箱を設置しました。これは協賛会社キャノンとセイコーエプソン社製プリンターの使用済みインクカートリッジを回収することにより、ベル

マークポイントが加算され、1個5点のベルマーク点数がもらえます。処分するとゴミにすぎませんが、集めることによりリサイクル、ボランティアにつながります。

設置場所は志津南市民センター(公民館)の蛍光灯処分箱の横です。平成19年3月末まで設置します。ご協力いただくと幸いです。

(志津南小学校PTA)

### お年寄り、子どもら人形劇楽しむ

子どもたちと高齢者のふれあいの場にと人形劇サークル「お



おにぎり村の人形劇

にぎり村」の公演が11月20日、志津南市民センターで行われ、子育てサークルのお母さんと子どもたち、くるみ保育園年長組の園児、それに地域の高齢者ら合わせて約90人が温かさあふれる人形劇を楽しみました。

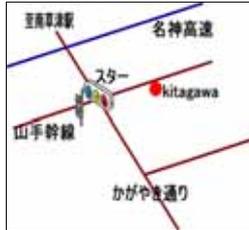
「おにぎり村」は、多くの子どもたちに見てもらいたい人形劇を、と昭和58年に湖南市を拠点として活動を開始、県内各地で公演を行っているボランティア

(民児協)

締切 1月13日(土) 難しい知識は不要です。

### こよみ

- 12月20日(水) やすらぎ学級『環境にもとやさしく』 13:30~17:00
- 12月22日(金) 志津南小学校終業式
- 12月23日(土) 若寿会:奉仕作業
- 12月29日~1月3日 志津南市民センター(公民館)は休館。
- 1月5日(金) 定例健康相談(子育て相談あり) 10:00~12:00 市健康推進課
- 1月6日(金) 書き初め大会(子ども会) 9:00~12:30
- 1月7日(土) 若寿会:健康ウォーキング 8:45若草中央公園集合
- 1月8日(月) 若寿会:月例会 10:00~16:00
- 1月9日(火) 地域サロン:懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 1月12日(金) ファミサポキャラバン隊(親子ひろば) 10:00~12:00 草津市ファミリーサポートセンター ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
- 1月14日(日) 左義長 10:00~12:00 若草中央公園
- 1月18日(木) 食育講座『美味しく食べて、健康な毎日』 10:00~12:00 印の開催場所は志津南市民センター(公民館)です。



## 素材の味生かす

洋菓子



入り口のドアを開けると甘酸っぱい、いいにおいが鼻をくすぐる。山手幹線の若草交差点近く

に昨年11月に開店した洋菓子の店「パティスリー・キタガワ」。パティスリーとは洋菓子店を意味するフランス語。

店に入ると左側に焼き菓子が並び、右側にケーキが陳列されている。その奥では6人のケーキ職人が忙しそうに立ち働いている。いずれも若い。多いように思えるが、ケーキ作りは

機械化が難しく職人技に頼らざるを得ない事情もあって技術傳承を兼ねて多めに雇っているそうだ。

「味にこりすぎれば素材の味が失われる」と明快である。当地に店を構えたのは「若草の町並みと周囲の開放感が気に入った」ことに加え、「自分のスタイルで店づくりができるから」と、わざと人の多い駅前を避け、この地を選んだそう。

北川さんは「ほかのケーキ屋さんになんかを紹介しつつ、地域の中に溶け込み、食べたい時に一個でも気軽に買いたい」に「店にしたい」と日々のケーキづくりに精魂傾けている。

キ職人が忙しそうに立ち働いている。いずれも若い。多いように思えるが、ケーキ作りは

種類の季節商品を常時用意している。定番の人気品はシュークリーム(一個137円)といちごのショートケーキ(同239円)、ベイクドチーズ(同252円)。季節商品は年に40種類はリニューアルする。ほかに焼き菓子(同63円、74円、84円)などがある。

店のオーナーでシェフの北川宏さん(42)は滋賀県日野町出身。西宮の著名なケーキ店で14年間ウデをみがいた。ここで、旬のものを使う「素材が基本」を叩き込まれた。いまもそれを肝に銘じている。

だから、いちごのショートケーキならクリームやスポンジはいちこの味の引き立て役と考えて

いるし、素材がレアチーズのベイクドチーズならセラチンなど不要なものは一切使わない。

「味にこりすぎれば素材の味が失われる」と明快である。当地に店を構えたのは「若草の町並みと周囲の開放感が気に入った」ことに加え、「自分のスタイルで店づくりができるから」と、わざと人の多い駅前を避け、この地を選んだそう。

場所 若草1丁目6番8号  
電話 (569) 5826  
営業 9時~20時  
定休 水曜日  
駐車 8台

### みんなの広場

昨年志津南地区や青山地区で空き巣が多発しました。狙われた家はほとんどが北向き、裏庭が盲点らしい。時間帯は大半が昼間の2時から4時の間。噂には聞くが他人事、自分は大丈夫と思っている人が多いのでは。小生もその一人、買い物から帰って玄関の鍵を開けると内側のチェーン錠が掛かっている。一瞬「やられた」と裏庭に回るとガラス戸が開けられ、部屋中ひっくり返されていた。

### 悔しい経験

防犯意識が目覚め、夜間はガレージも含め扉には施錠、外出時は雨戸を必ず閉めるなど必要以上に手間をかけている。最近あまり噂を聞かないが平穩だからと安心は禁物、日頃から防犯対策に留意し安全な町に地域ぐるみで取り組むことが大切ではないでしょうか。(空き巣の被害者)

### 左義長のお知らせ

志津南地区自治連合会では、恒例の左義長を平成19年1月14日(日)午前10時から12時までの間、若草中央公園で開催されます。

お正月の飾りつけやお札類、子どもさんの書き初めなどを焼却します。是非ともご利用下さい。

### 休館日のお知らせ

志津南市民センター(公民館)は平成18年12月29日(金)から平成19年1月3日(水)までの6日間、休館とさせていただきます。